

## 令和5年度 総合馬術プログレスチーム強化合宿 実施要項

1. 主催 公益社団法人 日本馬術連盟  
運営担当 日本馬術連盟 総合馬術本部
2. 目的 日馬連総合馬術プログレスチームの技術を主な目的として実施する。また、合宿では実技講習だけではなく座学講習も行い、今後の総合馬術国内トップアスリートとして必要な知識及び規範意識を身につけ見分を広めることも目的のひとつとする。直近の目標として年代別総合馬術選手権競技、全日本総合馬術大会、また2026年愛知名古屋アジア大会、2028年ロサンゼルス五輪に向けての選手強化を目指す。

### 3. 概要

	令和5年度総合馬術プログレスチーム強化合宿
参加対象	総合馬術プログレスチームメンバー及びジュニアメンバー
期間	令和6年3月5日(火)～3月8日(金)(4日間)
会場	<三木ホースランドパーク> 兵庫県三木市別所町高木
講師	【実技】 根岸淳 総合馬術副本部長/JOC強化スタッフ 細野茂之 総合馬術本部委員/JOCナショナルチームコーチB 【座学】 インテグリティ研修講師等
参加料	無料
宿泊	参加選手が主催者の指定・手配する宿泊施設を利用する場合は無料 指定宿泊先:アーバンホテル三木
申込締切	令和6年2月12日(月) 厳守

### 4. 参加資格・条件

- (1)参加者は、申し込み時点において、日本馬術連盟の会員で令和5年度総合馬術プログレスチームメンバー・ジュニアメンバーであること。
- (2)選手1名につき2頭まで参加可能。
- (3)参加馬は、申し込み時点において、日本馬術連盟の登録馬であること。
- (4)参加者が未成年の場合は、保護者の承諾書を郵送すること。対象者には後日連絡する。

### 5. 参加申し込み

日馬連ウェブサイトのマイページから電子申請により申し込むこと(オンラインのみ受付可能)。

## 6. 開講式(打ち合わせ会を兼ねる)

令和6年3月5日(火) 午前8時30分(予定)

## 7. 感染症対策について

新型コロナウイルス感染症あるいはその他指定伝染病の状況によっては開始前、開催中に関わらず合宿を中止する場合がある。

## 8. 主催者が負担するもの

以下の項目は主催者が負担する。

1) 入厩料(選手1名につき2頭まで)。但し、飼料及び追加の敷料代は含まない。

2) 参加選手の自宅～会場までの往復交通費。但し、「自宅」とは令和6年1月1日時点で日馬連に登録されている住所を指し、実費ではなく、鉄道・公共バス利用を想定し主催者が旅費・交通費計算ソフトを使用して経路を基に算出した金額を交通費として支給する。

3) 馬匹輸送費助成。馬匹の通常繋養先～会場までの輸送費を助成する。但し、助成額は実費ではなく日馬連が別途定めた基準にもとづく。また、助成額は頭数に関わらず実際の台数分とする。

例①:選手1名が2頭を一台で輸送する:馬運車一台分の助成。

例②:同じ団体に所属する2名の選手が合計4頭を一台の馬運車で輸送する:団体に対して馬運車一台分の助成

例③:同じ団体に所属する4選手が合計8頭を二台の馬運車で輸送する:団体に対して馬運車二台分の助成

4) 参加選手の宿泊。但し、宿泊は主催者が指定・手配する宿舎を利用する場合に限り提供する。

・宿泊先:アーバンホテル三木(シングル利用)

〒673-0403 兵庫県三木市末広3丁目115 TEL 0794-86-6636

3月4日(月)チェックイン/3月8日(金)チェックアウト、朝食付

・宿舎～会場間の移動は選手自身が手配、負担すること。

4) 参加選手の合宿期間中(3月5～8日)の昼食(弁当)。

## 9. その他

・夕食は各自で手配・負担すること。

・馬取扱者の宿舎及び食事は各自で手配・負担すること。

・講習会は一部座学を含む。詳細は参加者確定後に通知する。

・参加者・参加頭数が多数になった場合は主催者側が調整することがある。

・会場の施設利用者心得を厳守すること。みだりに規律を乱すものは退場/退厩を命じ、その後の施設の利用を許可しない場合がある。

・参加者及び馬取扱者は何らかの傷害保険に加入していること。

・合宿期間中の万一の事故に対して応急処置は講ずるが、主催者および運営者はその責めを負わない。

・馬の防疫に関しては、日本馬術連盟の規程および会場の規程に従うこと。

・各自メディカル情報をインターネットにて登録すること(別途案内)。

- ・入厩日は3月4日(月)9:00~16:00。指定日より前の入厩については三木ホースランドパークに直接連絡し、かかる費用を自身で清算すること。また、合宿に引き続き三木ホースランドパークで行われる公認競技会に参加するため厩舎の継続利用を希望する場合は、合宿参加申し込み時に申し出ること。

この強化合宿は、競技力向上事業助成金を受けて実施されています

**JAPAN SPORT**  
COUNCIL

日本スポーツ振興センター